

拡張機能 MV3 移行- FAQ

Q1: MV2 の利用期限である 2023 年 1 月までに、UiPath MV3 用拡張機能へアップグレードしなかった場合、何が起こりますか？

[Google 社](#)および [Microsoft 社](#)から提示されているタイムラインによりますと、すべての既存の MV2 用拡張機能は 2023 年 1 月をもって機能停止するとされています。この期限は、[ExtensionInstallForceList](#) というグループポリシーを利用して MV2 用拡張機能をインストールすることで、2023 年 6 月まで延長されます。

つまり、UiPath の MV2 用拡張機能に依存しているすべての自動化プロセスは、MV2 のサポート終了期限後には動作しなくなります。

そのため、期限までに MV3 に対応した UiPath Studio(Robot)バージョンへのアップグレードを強く推奨いたします。

Q2: エンタープライズポリシーは具体的にどのようなものですか？

以下のリンクをご参照ください。

Chrome: <https://chromeenterprise.google/policies/>

Edge: <https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployedge/microsoft-edge-policies>

Q3: UiPath MV3 用拡張機能へのアップグレード後に、既存の自動化プロセスに対して修正が必要となりますか？

基本的に、既存の自動化プロセスに対して修正は不要です。

Q4: 本対応のため、UiAutomation Activity パッケージの更新は必要ですか？

いいえ、MV3 は UiAutomation Activity には依存しておりませんので、更新は不要です。

Q5: UiPath.UIAutomation.Activities のどのパッケージが UiPath MV3 用拡張機能と互換性がありますか？

UiPath MV3 用拡張機能は、すべての既存の UiPath.UIAutomation.Activities パッケージバージョンに対して後方互換性を持っています。

Q6: “JS スクリプトを挿入” アクティビティは、UiPath MV3 用拡張機能でも動作しますか？

はい、“JS スクリプトを挿入” アクティビティは、UiPath MV3 用拡張機能でも変わらず動作します。

Q7: UiPathStudio.msi を利用して MV3 用拡張機能をインストールした後、UiPath Orchestrator もアップグレードする必要がありますか？

いいえ、UiPath Orchestrator のアップグレードは不要です。（ただし、アップグレードした UiPath Robot のバージョンと UiPath Orchestrator の互換性が保たれない場合は、Orchestrator のアップグレードが必要となります。参照：[後方互換性マトリクス](#)）

Q8: UiPath MV3 用拡張機能に既知の問題はありますか？

クリックアクティビティにて、「シミュレート」の入力メソッドを利用している場合、以下のハンドラーを持つ HTML のボタンに対して自動化している既存のワークフローが動作しなくなります。

UI 要素 : "javascript:"

本問題が発生した場合、シミュレートクリックは動作せず、エラーも発生しません。

また、ワークフローの修正が必要となり、クリックアクティビティの入力メソッドを「シミュレート」から「ハードウェアイベント」もしくは「ウィンドウメッセージ」へ変更する必要があります。

なお、上記 UI 要素はセレクターの中に必ずしも含まれる記述では無い（対象ブラウザのソースに記述）ため、.xaml ファイルの中身に対する文字検索で影響箇所を特定することはできかねます。

Q9: UiPath MV3 用拡張機能を利用するために、どのバージョンの Chrome が必要ですか？

Chrome 用の UiPath MV3 用拡張機能は、Chrome のバージョンが 98 以降でのみインストールが可能となります。

Chrome のバージョンは、Chrome にて <chrome://settings/help> を開くことで確認することができます。

UiPathStudio.msi 自体も Chrome のバージョンを検知し、自動的に適切な UiPath 拡張機能をインストールします。(MV2 もしくは MV3)

Q10: UiPath MV3 用拡張機能を利用するために、どのバージョンの Edge が必要ですか？

Edge 用の UiPath MV3 用拡張機能は、Edge のバージョンが 98 以降でのみインストールが可能となります。

Edge のバージョンは、Edge にて <edge://settings/help> を開くことで確認することができます。

UiPathStudio.msi 自体も Edge のバージョンを検知し、自動的に適切な UiPath 拡張機能をインストールします。(MV2 もしくは MV3)

Q11: 現状 2022.4 バージョンを利用している場合、何かアクションが必要ですか？

2022.4.3 および 2022.4.4 のバージョンには、Chrome 用の MV3 用拡張機能が含まれています。

8 月にリリースが予定されている 2022.4 のパッチには、Edge 用の MV3 用拡張機能が追加される予定です。

そのため、もし自動化プロセスの中で Edge 拡張機能を利用している場合、UiPathStudio.msi によるパッチ適用が必要となります。

Q12: UiPath を外部ネットワーク環境から切り離して（エアギャップ）利用している場合どうなりますか？

現状、UiPath をエアギャップ環境で利用しており、2023 年 1 月より前にリリースされた Chrome バージョンのご利用を継続する場合は、MV3 の制限は強制適用されず、影響はありません。

今後、2023 年 1 月以降にリリースされる Chrome バージョンを適用するタイミングで、MV3 の制限が適用され、MV3 に対応した UiPath Studio(Robot)へのアップグレードが必要となります。

Q13: ブラウザの拡張機能がグループポリシーで中央管理され、一度にすべてのマシンで Studio の更新を行うことが困難な場合にどのように移行を進めることが推奨されますか？

以下の手順をご参照ください。

具体的なシナリオ:

現在、ユーザーが次の構成で Studio 並びに Edge 拡張機能を使用しているとします。

- UiPath Studio v21.10.7
- MV2 Edge 拡張機能 (mbmcfnpjjfabjgfgghopojlpjhfoinb)

そして、管理者は UiPath Studio v21.10.8 と MV3 Edge 拡張機能 (kcgmcmhhfbcaclnopghneecffhelmhe) への更新を検討しています。

ブラウザの拡張機能はグループポリシーで中央管理されています。

多数のマシンが存在するため、一度にすべてのマシンで Studio 及び拡張機能の移行を行うことが困難です。

すべてのマシンで移行を実施するのに時間がかかるこのようなシナリオでは、次の方法での移行をお勧めします。

推奨される移行手順:

1. ExtensionInstallForceList の UiPath 拡張機能 ID は変更せず、先にすべてのマシンで UiPath Studio v21.10.8 へのアップグレードを行います。UiPath Studio v21.10.8 がインストールされたマシンでは、MV2 と MV3 の両方の拡張機能が使用できます。
2. UiPath Studio v21.10.8 がすべてのマシンにインストールされたら、ExtensionInstallForceList の UiPath 拡張機能 ID を MV2 (mbmcfnpngjlfabjgfhopojlpjhfoinb) から MV3 (kcgmcmhhfbcaclnopghneecffhelmhe) に変更します。
3. グループポリシーのマシンへの反映後、自動的に各ユーザーのブラウザに MV3 Edge 拡張機能がインストールされます。

行ってはいけないこと:

ExtensionInstallForceList に例えば MV2 (mbmcfnpngjlfabjgfhopojlpjhfoinb) と MV3 (kcgmcmhhfbcaclnopghneecffhelmhe) の両方など、複数の UiPath 拡張機能 ID を設定してはいけません。